

持続可能な未来への道

メーカー各社 SDGs の取り組み

Vol.10

日東工業株式会社

今や、企業の共通言語となりつつあるSDGs。とりわけ、電設資材メーカーとの親和性は高く、2030年までに達成することを目指すSDGs17目標のうち「07:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「08:働きがいも経済成長も」「09:産業と技術革新の基盤をつくる」「11:住み続けられるまちづくりを」「12:つくる責任 つかう責任」「13:気候変動に具体的な対策を」などは、電設資材メーカーの企業活動そのものとも言えます。

そこで、全日電材連賛助会員の電設資材メーカー各社を順番に訪問し、その先進的な取り組みをご紹介します。



日東工業株式会社

本 社 所 在 地：	愛知県長久手市蟹原 2201 番地
設 立：	1948 (昭和 23) 年 11 月
取締役社長 COO：	黒野 透
従 業 員 数：	連結 4,528 名 単体 2,170 名 (2024 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容：	高圧受電設備、分電盤、ホーム分電盤、光 接続箱、金属製キャビネット、樹脂製ボックス、 システムラック、ブレーカ、開閉器、電気自 動車 (EV・PHEV) 用充電器シリーズ、熱関 連機器などの電気機械器具製造・販売および 発電・売電事業
H	P : https://www.nito.co.jp/

沿革

1948年	日東工業株式会社設立
1951年	カバー付ナイスイッチの製造・販売を開始
1963年	標準分電盤の製造・販売を開始
1966年	高圧受電設備の製造・販売を開始
1967年	鉄製キャビネットの製造・販売を開始 名古屋工場(愛知県長久手市)新設
1970年	愛知県瀬戸市から長久手市に本社を移転
1974年	菊川工場(静岡県菊川市)新設
1975年	ブレーカの製造・販売を開始
1980年	システムラックの製造・販売を開始
1983年	浜松工場(現磐田工場)(静岡県磐田市)新設
1992年	中津川工場(岐阜県中津川市)、佐賀庵木工場(現唐津工場) (佐賀県唐津市)新設
1996年	東証・名証第一部上場
1997年	花巻工場(岩手県花巻市)新設
1999年	栃木野木工場(栃木県下都賀郡野木町)新設
2008年	掛川工場(静岡県掛川市)新設
2024年	瀬戸工場(愛知県瀬戸市)新設



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



社会課題の解決につながる ものづくりとサービスを



第10回の訪問メーカー様は、愛知県長久手市に本社を置く日東工業株式会社様。「スイッチの日東工業」「キャビネットの日東工業」と呼ばれるほど高品質なものづくりで知られるメーカーです。

そして、2024年4月、創業の地・愛知県瀬戸市に建設した新工場が稼働を開始しました。瀬戸工場は、サステナビリティを重視した環境配慮型スマートファクトリーであり、より一層の品質向上を目指したものがづくりが行われています。

新工場の一角にて、グループ経営企画統括部長の竹中浩一取締役(サステナビリティ推進室担当取締役)にお話を伺いました。

(文中での敬称は略させていただきます。)



竹中浩一
取締役グループ経営企画統括部長

SDGs達成目標

2030年度までにGHG

排出量30%削減(2020年度比)

編集部 日東工業様のSDGs達成目標を教えてください。

か。

竹中 日東工業グループとして、2050年の「カーボンニュートラル実現」を目指し、Scope 1、2およびScope 3のGHG(温室効果ガス)排出量を2030年度までに2020年度比で30%削減することを目標に掲げています。なお、



環境方針

1. 環境関連の法律・条例・協定等を遵守します。
2. 事業活動、製品及びサービスの環境影響をライフサイクルで捉え、以下のテーマに環境目標を定め取り組みます。
 - ・CO₂排出量の削減
 - ・排出物の削減、ゼロエミッションの維持
 - ・環境配慮製品の開発
3. 積極的な環境保護活動を推進するため、以下のテーマに取り組みます。
 - ・お客様へ環境に配慮した商品の提供
 - ・環境に配慮した「グリーン調達」の推進
 - ・環境に優しい物流輸送の推進
 - ・地域社会の一員として地域保全活動を通じ自然との調和を推進
 - ・安全・安心を地域社会に提供(環境汚染予防活動の実施)
 - ・水使用効率の改善と排水の汚濁負荷削減の取り組みを推進
4. 環境に関する情報を開示する。
5. この方針を、役職員含むすべての業務従事者に周知し、展開する。

Scope 3に関しては、日東工業、サンテレホン、北川工業を対象としています。

SDGsの取り組み事例

編集部 では、目標達成に向けて

どのような環境活動に取り組んでいるのでしょうか。

竹中 当社では、次の通り定めた環境方針に従って活動しています。



編集部 非常に幅広い範囲で環境活動に取り組まれていると

いうことがよくわかりました。

竹中 当社では、30年以上前の1990年代から環境活動に取り組んでいます。最初は紙使用量の削減や照明スイッチのこまめなオン・オフなど身近な取り組みから始め、2014年からは※モーターシフトにも取り組んでいます。

※モーターシフト：トラックなど自動車で行われている貨物の輸送をより環境への負荷が低い鉄道や船舶といった輸送手段に切り替えること。

編集部 なるほど、環境負荷が低だけでなく、トラックドライバー不足の解決にも繋がりますね。他にSDGsに基づくプロジェクト事例があればご紹介いただけますか。

竹中 経産省が主体となつて行っている※1GXリーグに参画しているほか、愛知県が立ち上げた「あいち※2サーキュラーエコノミー推進プロジェクト」のメンバーとして、廃プラスチックのマテリアルリサイクルの拡大に取り組んでいます。

※1「GXリーグ」…2050年カーボンニュートラル実現と社会変革を見据えて、GXへの挑戦を行い、現在および未来社会における持続的な成長実現を目指す企業が同様の取組を行う企業群を官・学と共に協働する場。

※2「サーキュラーエコノミー」…あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、付加価値を最大化することを目指す社会経済システム。

2023年8月、愛知県長久手市と（二社）みんなまちエナジー、当社の3者で協定を締結し、2024年11月、長久手市の再生可能エネルギー推進の取組みを開始しました。これは、北小校区共生ステーションの屋根を活用して太陽光発電設備（発電能力13.12kW）を設置し、発電した電力を北



（左から）日東工業 黒野社長、みんなまちエナジー大庭代表、長久手市 佐藤市長



実証事業第1号建物
指定避難所でもある北小校区共生ステーション

小校区共生ステーションおよび北児童館へ電力供給を行い、長久手市がその電力を買い取り、売上金の3割を長久手市民主体のまちづくり活動へ還元す

るというものです。

他に、長久手市内の清掃活動「愛・Nクリーン活動」や花巻工場のある岩手県花巻市での「企業の森ボランティア活動」など行政・地域社会とも連携して、幅広くSDGsに取り組んでいます。

編集部 社内向けの取組みはいかがでしょうか。

竹中 社長黒野の声掛けもあり、現在社内において、働き方改革ならぬ、「働きがい改革」を進めています。これは、社員一人ひとりが自発的・積極的・挑戦的に社会貢献や仕事に取り組み、いきいきと働けることを目標にしたプロジェクトです。社員の起案企画で有志が集まり、地元の小学生向けに電気教室を開催しました。また、健康保持増進を目的に「Nウォーク」というウォーキングイベントを開催し、歩数上位者・チームに賞品を授与したりと、様々な活動に取り組んでいます。

■商品面での取り組み

編集部 では、商品面でのSDGsの取組みを教えてくださいませんか。

竹中 脱炭素や資源循環の観点から開発した商品として日産リーフのリースバッテリーを使用した産業用太陽光自家消費蓄電池システムの「サファLink ONE」や防災の観点から開発した商品として火花放電（トラッキング・ケーブル断線・ショートなど）を検出し、電気火災の未然防止に貢献する業界初の放電検出ユニット「スパークテクト」、大型台風やゲリラ豪雨などの異常気象対策として、耐風性能に優れたキャビネット「タフテクト」などを取り揃えています。

編集部 SDGs商材を拡販するための電材卸会社への要望は。

竹中 『サファLink ONE』を始めとして環境配慮型の商品多数取り揃えています。

商品に対するご意見・ご要望があれば、是非、当社にお寄せ下さい。そのニーズを商品に反映することで、業界全体としてカーボンニュートラルに取り組んでいくことにつながると考えています。

SDGsの取り組み 展望と課題

編集部 SDGsの取り組みについて、展望と課題があれば、お聞かせいただけますか。

竹中 SDGs 13 関連では、TCFD提言を踏まえ気候変動によるリスクと機会を洗い出し、4℃シナリオと1.5℃シナリオを用いて事業への影響を分析しました。SDGs 12 関連では、社会全体として高齢化や人口減少により、電気の保安・保全といった部分での業務遂行が今までのようにはできなくなってくる可能性があります。その解決策として、当社では、電力の使用状況や盤内の温

度・湿度・表面温度を分析し、遠隔で監視するシステム・サービスを既に開始しています。SDGs 4 関連では、電気工事士の人材不足という課題に対する一助として、全日本電気工業工業組合連合会様のご協力により、電気工事士を主役として描いた子ども向け絵本「電気工事士のお父さん」を2022年から発売しており、大変好評をいただいております。



そのような社会課題の解決につながる製品づくり、サービスの提供にこれからです。注力していかなくてはならないと考えています。

新時代の環境配慮型工場

日東工業(株)瀬戸工場のご紹介

工場の屋根で発電した太陽光発電の電力等を空調・照明・各種生産設備に使用。100%再生可能エネルギーで電力を賄っています。

BEES評価(建築物省エネルギー性能表示制度)で最高ランクの5つ星を獲得すると同時に、ZEB認証を取得、産業用太陽光自家消費蓄電池システム「サファリンク・ONE」も導入した新時代の環境配慮型

工場です。

また、デジタルトランスフォーメーションを推進し、日東工業独自のスマートオーダーキャビネットの生産システムを導入しています。自動かつ多品種少量生産に対応できる画期的な生産システムで、お客様が要求する仕様・品質の製品を最適な価格・納期でお届けします。



工場の屋根に設置している太陽光発電システム
(パネル容量 1,312kW)



所在地	愛知県瀬戸市八床町 22 番地 4
敷地面積	249,000㎡
建物面積	50,000㎡
主要生産製品	金属製キャビネット・ブレーカ・システムラック・光接続箱・熱関連機器



SDGs

いちおし

商品



環境配慮型産業用太陽光自家消費蓄電池システム

サファLink-ONE-

脱炭素社会の実現に向けて太陽光発電が普及してきた中、最近ではBCP（事業継続計画）対策も含め、太陽光発電で得た電力の自家消費が増えています。日東工業は、自家消費において重要な役割を果たす蓄電池にリユースバッテリーを活用するという、環境に配慮した商品開発を実施。電力の効率的な利用を可能にする蓄電池システム「サファLink-ONE」が誕生しました。



●商品の特長

- ① リユースバッテリー活用で地球にやさしい
日産リーフのリユースバッテリーを使用することで製造工程でのCO₂排出削減やレアメタルなどの資源再利用を行い、好循環サイクルの創出を実現します。
- ② キュービクル構造で扱いやすい
キュービクル構造のため、搬入、据付工事が容易です。（エアコンレスのため熱対策のランニングコストがかかりません）また、既存キュービクルや系統連系キュービクルと連結した一体型として設置が可能です。※
※日東工業製の場合に限ります。増設連結の際は可否をご確認ください。
- ③ 余剰電力を使いこなす3種類の運転モード
大規模なシステムを構築することなく、自社設備のみでさまざまな動作が可能です。太陽光発電の余剰電力を施設ごとの需要に合わせて効率よく充放電。購入電力量の削減やCO₂排出削減に貢献し、緊急時の対策としても役立ちます。
- ④ 外部システムとの連携も可能
遠隔指令値動作機能（オプション）
各社のエネルギー管理システムと連携が可能です。太陽光自家消費の制御や需給調整市場（アグリゲーター）の指令により充放電を実施し、効率的な充放電や系統の需給バランスに貢献します。
- ⑤ 遠隔で状態監視が可能
監視システム（オプション）
株式会社フラスシステムの遠隔監視システム「L・e・y・e」で、状態監視ができます。



環境配慮型産業用太陽光自家消費蓄電池システム サファLink-ONE- 特設サイト
<https://www.nito.co.jp/guide/safalink-one/>

会社のお宝 ご紹介



日東工業株式会社
設立初期の商品



左上：「コンセント」（1948年）
左下：「カットアウトスイッチ」（1948年）

右上・右下
「カバー付ナフスイッチ」（1951年）

